



シーズン中の無事故を祈願

町内 5 浜が合同浜開きと安全祈願



今シーズンの無事故を祈願する出席者ら

猪苗代湖 5 浜の合同浜開きと安全祈願祭は 7 月 14 日、天神浜の小平瀉天満宮で開催されました。祈願祭には、町内の商工観光業者、警察や消防関係者など約 30 人が出席し、玉ぐしをささげて今シーズンの無事故を祈願しました。

式典後には天神浜観光組合の戸田忠則組合長が「昨年の水上オートバイのような悲惨な事故を再発させないように組合員が一体となり、1 人でも多くの観光客に来てもらえるように努力する」とあいさつ。津金要雄町長、渡部立一猪苗代警察署長らが水難事故防止への協力を呼びかけました。

ブルーベリーの味を楽しむ

園児らがブルーベリー摘みに挑戦



笑顔でブルーベリー摘みを楽しむ園児ら

有限会社花雅(幸野)、ブルーベリー園よしの(中ノ目)、宇川ブルーベリー園(五十軒)、浅野茂さん宅(打越)のブルーベリー畑で、町内の幼稚園・保育所の園児らがブルーベリー摘みを楽しみました。これは町内でブルーベリー栽培を営む皆さんのご好意によるものです。

7 月 16 日、浅野茂さん宅のブルーベリー畑では、千里幼稚園の園児ら 31 人が摘みたてのブルーベリーをほお張り、「おいしい」「甘い」と笑顔を見せました。浅野さんの妻、カヨ子さんも、「子どもたちの笑顔が見れてうれしいね」と笑みを浮かべていました。

大会誘致や町 P R のために

町卓球協会が卓球台 10 セット寄付



津金町長に目録を手渡す佐藤会長(中央)

町卓球協会の佐藤一^{はじめ}会長、山本一彦^{かずひこ}事務局長、猪俣裕一^{ゆういち}理事長らは 6 月 18 日、町役場を訪れ、大会誘致や競技振興に役立ててほしいと、町に卓球台 10 セットを寄贈しました。

佐藤会長らは「これまでもいろいろな大会を開催しているが、さらに大きな大会を誘致できれば町の P R にもつながる。カメラナ^りいっぱい卓球台が並べば、かなり大きな大会を誘致できるので町も協力してほしい」と話しました。

津金要雄町長は「浄財^{じやうさい}をありがとうございます。町としても協力できるように努力します」とお礼の言葉を述べました。

古き良き語りに酔いしれる

いなわしろ民話祭りに 200 人来場



満員の来場者の前で「姥捨て山」を語る関和さん

いなわしろ民話の会(鈴木清孝^{きよたか}会長)が主催する第 9 回いなわしろ民話祭りは 7 月 19 日、町むかし体験館で開催され、約 200 人の来場者がほのぼのとした民話語りに聞き入りました。

会場内では、会員ら 15 人が「頭無不動さま」「おあき婆さんと猫」などの民話や昔の暮らしの話などをかわるがわる披露し、集まった来場者を楽しませました。

お客さんの前で話すのは、この日が初めてという関和ミヨさん(金曲)は、「姥捨て山」を披露。終了後は「緊張して話がちょっと抜けた」と笑いながらも安堵の表情を浮かべました。

町内の小学校にボール寄贈

郵便局が W 杯公式球レプリカ送る



久米本校長(右)にボールを手渡す佐藤局長

町内 6 郵便局は 7 月 1 日までに、国際サッカー連盟(F I F A) W 杯南アフリカ大会の公式球「ジャブラニ」のレプリカボールを町内 6 小学校に寄贈しました。

ゆうちょ銀行と郵便局は、W 杯応援企画として窓口にジャブラニのレプリカボールを展示してきました。展示期間の終了に伴い、地域の子もたちにサッカーに親しんでもらおうと各校にボールの寄贈を決めたものです。このうち猪苗代小学校では、佐藤孝二^{こうじ}猪苗代郵便局長が久米本^{きつもと}哲夫校長にレプリカボールとケースなどの展示セットを手渡しました。

有事に備え、防災出前講座

町婦人消防連絡協議会が心得学ぶ



熱心に受講する町婦人消防連絡協議会の会員ら

町婦人消防連絡協議会の研修会は 7 月 21 日、学びい^いなで開催され、町婦人消防連絡協議会(土屋紀伊子^{いご}会長)の会員ら約 20 人が出席しました。

この事業は、県災害対策課の防災出前講座を利用し、講師に県災害対策課、防災専門監^{けん}の菅野^{みづの}さんを講師に招いて実施されたものです。菅野さんは「地域社会のネットワークを大切にして、有事の際に救助に当たれる体制づくりが大切。避難は早めに、隣近所と声を掛けあって。警報などの情報収集を」などと講演し、会員らに注意を呼びかけました。



— 戸籍事務の電算化について — No. 2

先月に引き続き戸籍事務の電算化についてのお知らせです。今回は、記載される文字の正字化と、戸籍の証明書の様式についてお知らせします。

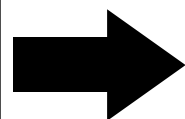
●電算化により氏名の文字が「正字化」されます

戸籍の記載事項をコンピュータに記録する際、氏名に使用できる文字は、戸籍法上で規定されている文字「正字」です。具体的には、「常用漢字表」「人名用漢字表」などに記載されている文字です。くずし文字や書き癖などにより、正字とは異なった字形で記録されている文字は、戸籍法上は使用できない文字のため、その文字に対応する字種と字体による「正字」で記載することになります。

※文字を正字化する必要のある人には、9月下旬までに文書で通知します。

●証明書様式は次のように変更されます

《電算化前の戸籍謄本のイメージ》



戸籍事務の電算化による、「文字正字化」などの取り扱いについて、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

今回は戸籍の^{あざめい}字名地番に使用する文字の正字化と、これまで使用してきた紙製の戸籍(平成改製原戸籍)の証明書についてお知らせします。

●問い合わせ先 町民生活課 町民生活業務 ☎(62) 2114

《電算化に伴う文字の正字化の例》

紀	→	紀	喜	→	喜
藏	→	藏	重	→	重
昭	→	昭	真	→	真
檜	→	檜	藤	→	藤
邊	→	邊	邊	→	邊

《電算化後の全部事項証明書のイメージ》

電算化前後の比較

区分	電算化前	電算化後
名称	戸籍謄本(全員)	全部事項証明書
	戸籍抄本(個人)	一部事項証明書
書式	文書形式、漢数字縦書き	簡条書き、算用数字横書き
用紙	普通紙 B版	偽造防止用紙 A版
公印	朱印	電子公印(黒印)

町役場に巨大いのしし君

良くしよう会がいのししを寄贈



津金町長に小型いのしし君を手渡す江花副代表(右)

町内の有志でつくる猪苗代を良くしよう会(本間昌儀会長)の会員らは7月26日、町役場を訪れ、猪苗代湖岸のヨシを刈り取って作製したイノシシの「いのしし君」を町役場に寄贈しました。

いのしし君は、昨年の磐梯まつりに合わせて同会の会員らが作製したもので、体長3.2m、高さ2.2m。今年の磐梯まつりにも参加し、町内を練り歩きました。また、磐梯まつりで山車を引いてくれた猪苗代保育所さくら組の子どもたちに、いのしし君の絵を描いてもらいました。今後はこぼほんでその絵の展示会を開く予定です。

将来の人づくりに役立てて

町一般廃棄物協同組合が寄付



右から佐藤理事、遠藤理事、大友代表理事

町一般廃棄物協同組合の^{けんいち}大友健市代表理事、^{みつゆき}遠藤光幸理事、^{はちろう}佐藤八郎理事らは6月29日、町役場を訪れ、図書購入に充ててほしいと10万円を寄付しました。

大友代表理事らが「将来の人づくりにつながるよう、図書購入のために使ってほしい。それが将来の町づくりにつながる」と趣旨を説明し、津金町長に寄付を手渡しました。津金町長は「町一般廃棄物協同組合の皆さんには、いつも寄付をいただきありがとうございます。人づくりのためになるような図書を購入します」とお礼の言葉を述べました。

町役場に映画余剰金を寄付

「いのちの山河」上映実行委が寄付



写真はいのちの山河上映実行委員会のメンバー

映画「いのちの山河—日本の青空2」上映実行委員会(五十嵐ミエ子実行委員長)は6月28日、福祉のために役立ててほしいと16,367円を町役場に寄付しました。

これは、4月10日に学びいなどで上映した同映画の余剰金。「命を大事にする行政をみんなで作り上げたい」との思いから寄付されたものです。

町役場で催された贈呈式では、五十嵐ミエ子実行委員長ら4人が、「誰でも笑顔で暮らせるような町づくりに使ってほしい」と津金町長に寄付金を手渡しました。